

劫初ごふしよより作りいとなむ殿堂てんどうに

われも黄金こがねの釘くぎひとつ打つ

歌 意

この世の初め、天地開闢てんちかひひくよりこの方、営々として築き上げられてきた芸術・文学の殿堂に私も輝かしい黄金の釘をしっかりと打ち込みました。

掲出歌集 『草の夢』大正11（1922）年9月（巻頭）  
初 出 「萬朝報」大正11年1月21日（晶子44歳）

